



## はじめに

東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

昨年3月に発生したこの震災では、多くの国や地域、国際機関から日本に様々な支援が寄せられ、我が国が国際社会と一体化した相互依存の関係にあることを改めて学びました。それら支援の背景には、我が国のこれまでの国際協力に対する評価とともに、今後とも相互依存の世界で重要な役割を担ってほしいという期待も込められていたものと考えております。また、本年度は国内外において様々な自然災害が相次いだほか、政治・経済にも大きな動きがありました。JICAとして、このように変化し続ける世界の状況に常に目を向け、すべての人々が平和と繁栄を享受できるような事業を実施していくことの重要性を再認識する一年となりました。

こうした役割を果たすため、JICAは2008年10月の統合以降、技術協力、有償資金協力、無償資金協力を機動的かつ有機的に活用した国際協力の推進に努めて参りました。その際、事業を適切に計画し実施するとともに、成果を評価・把握し、更にそこで得られた提言や教訓を事業へフィードバックすることにより、今後の協力をより効果的・効率的なものへと改善していくように取り組んでいます。また、我が国の一元的な政府開発援助実施機関として、今後のJICA業務に対する国民の皆様のご理解を頂くためにも、事業評価の結果を公開しております。

本書は、JICAが実施した事業評価について年次報告として取りまとめたものです。評価制度や評価向上のための取り組みを紹介するとともに、外部評価者に実施頂いた事後評価の結果やテーマ別評価の概要を中心に記載しています。

本書の内容を広く共有し、皆様のご理解の一助となることを願うとともに、今後のJICA事業に対する一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年3月  
国際協力機構  
理事長

緒方 貞子